

「王子弓道場新築工事設計業務」
公募型簡易プロポーザルに関する総評

今回のプロポーザルでは、調査表提出者5者から意欲的な提案が寄せられ、二次審査（ヒアリング）での厳正な審査を経て、委託先候補事業者1者を特定しました。

本業務は、王子公園内のスポーツゾーンの再整備にあたり、施設基準に課題を有する王子弓道場（近的場）を移転し、「競技者層の裾野の拡大」及び新たな利用機会の創出による「競技人口の増加」を目指して、新たな弓道場を整備するための設計を行うものです。

プロポーザルでは、カーボンニュートラルへの貢献と伝統的武道である弓道の場としての意匠性を兼ね備えた木材利用について、射場における無柱空間となる構造条件に対し、コスト・工期・メンテナンス性に配慮した、地域産木材を活用した施設整備の考えを問いました。また、教育・文化・スポーツ施設の集積する良好な周辺環境に配慮した外観デザインや道路からのアプローチ及び既存施設との連携に配慮した外構計画について提案を求めました。

特定された委託先候補事務所からは、伝統的武道である「弓道としての場」の実現が期待できる「反り屋根」や「格子組の耐力壁」が提案された。積極的な木造化の提案と共に、一部鉄骨部材を組み合わせ、一般的な製材によるシンプルな架構とすることで、経済性及び施工性への十分な配慮と地域産材の活用に対する工夫がみられました。

シンボリックな外観に加え、エントランスの土間へ導く外構計画や、大きな土間と縁側による開放的な入口空間の親しみやすさに配慮された提案が、競技者層の裾野の拡大が期待できる内外のつながりを強く意識した工夫として高く評価されました。また、交流広場、ギャラリーや観覧席と既存施設とのつながりにより、開放的で立ち寄りたくなる雰囲気醸成し、公園全体としてのエントランスを意識した工夫がなされています。

本業務における目的を十分理解した的確でバランスのよい提案であり、ヒアリングでの明確な質疑応答により豊富な知識が感じられた点も評価のポイントとなりました。

なお、特定された委託先候補事務所のみならず、いずれの提案も、限られた時間の中で、本業務の目的に対し真摯に検討がなされた、意欲的で質の高い提案でありました。本プロポーザルに参加いただいたすべての方に敬意を表すとともに厚く御礼申し上げます。

2024年6月
神戸市建築工事設計監理外注委員会